

生活科でいう 気付き とは

生活科でいう気付きとは、対象に対する一人一人の認識であり、児童の主体的な活動によって生まれるものである。そこには、知的な側面だけでなく、情意的な側面も含まれる。自分が「あれっ」「どうして」「なるほど」などのように何らかの心の動きを伴って気付くものであり、一人一人に生まれた気付きは吟味されたり一般化されたりしていないものの、確かな認識へとつながるものとして重要な役割をもつ。無自覚だった気付きが自覚されたり、一人一人に生まれた個別の気付きが関連付けられたり、対象のみならず自分自身への気付きが生まれたりすることを、気付きの質が高まったという。気付きは確かな認識へとつながるものであり、知識及び技能の基礎として大切なものである。

学習指導のポイント

気づきの質を高める

- 無自覚⇒自覚へ
- 個別⇒関連へ
- 対象⇒自分自身へ など

活動を繰り返したり
対象との関わりが深まったり
することに伴う

気付きの質の高まり

一日〇人の方が公民館を利用しているそうです。あまりの多さにびっくりしました。地域にとって大切な場所なんだと思いました。

公民館は、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、あかちゃんなどみんなにとって必要な場所だと言ることが分かりました。

誕生日には、いつも〇〇のケーキ屋で買っています。おまけしてくれます。

クリームを絞って1つ1つ手作りをしているすごいと思った。

公民館の折り紙教室は、おばあちゃんが行っています。おばあちゃんは、亀を折ることができます。

公民館の建物が大きかった。

ケーキ屋さんのケーキがおいそうだった。

〇〇のケーキ屋は、お母さんがおいしいと言っています。他の友達もみんな買いに行っていました。おいしさの秘密は、クリーム作りだと書いていました。ほくも将来、ケーキ屋さんになりたいなと思いました。

対象

ガソリンスタンドは、5人働いていました。

ガソリンスタンドの洗車機はグルグル回ってすごい。

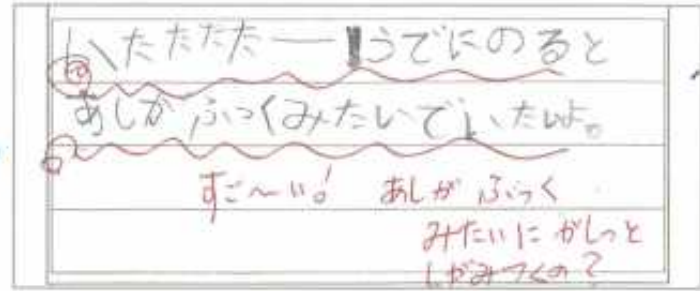
ガソリンスタンドのガソリンの値段は、毎日変わるそうです。最近、お父さんは、値段が高くなったなと言っていました。どうやって値段が決まるのか知りたいです。

ガソリンスタンドの洗車機は、お父さんがよく使う。ぴかぴかになる。



6月4日の観察カード

「くすぐったい」と「ぎざぎざしている」をつなげる朱入れ。



6月9日の観察カード（文章の部分）

「あしがふつくみたい」と記述したことに、担任は驚きを示して意味付けた。



6月12日の観察カード（絵の部分）

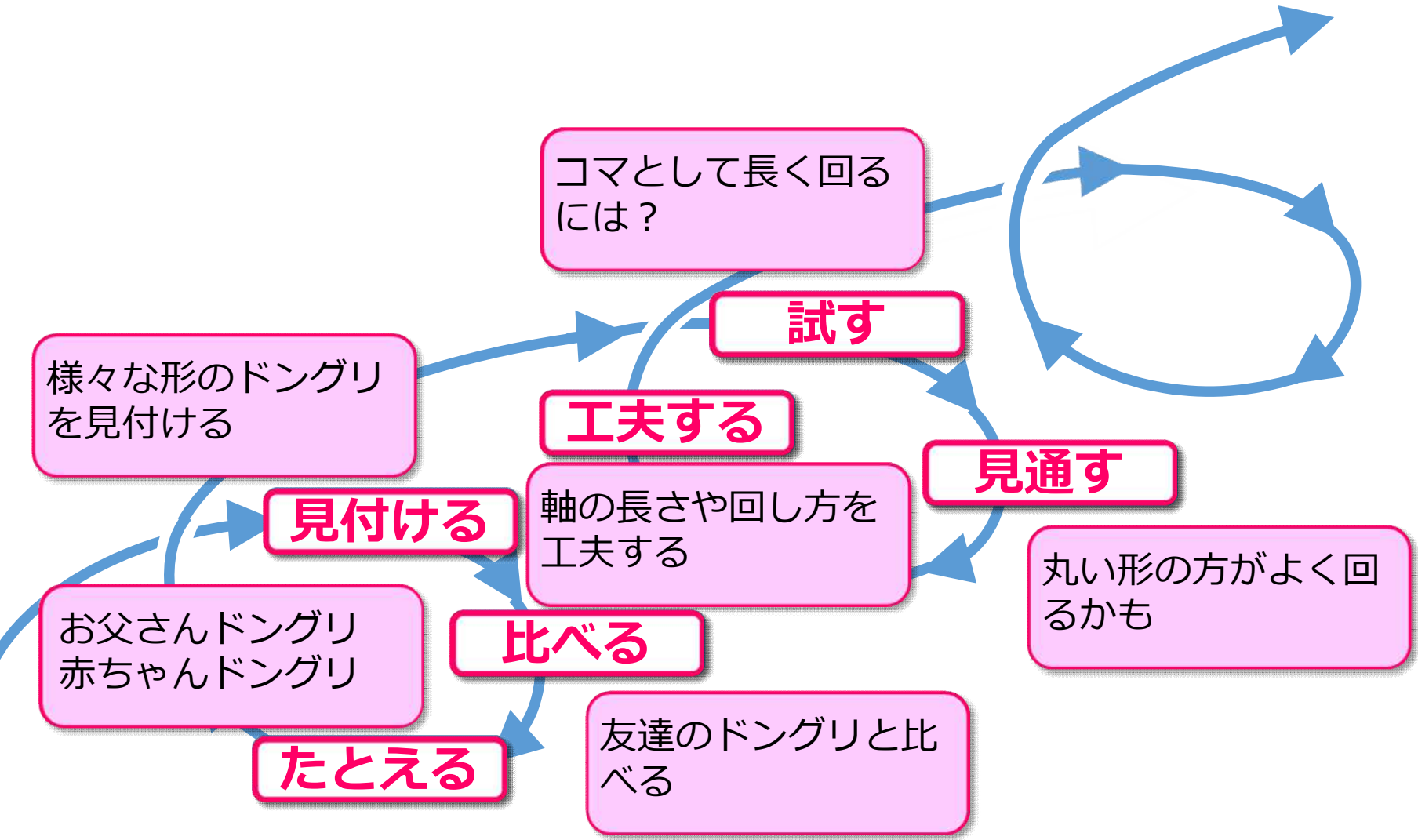
足の正確な描写に驚き、納得する朱入れ。
4日の観察カードとは、足の描き方が違います。

共感（そうそう），**納得**（なるほど），**驚き**（うわあ），**問い返し**（どうして）などを視点にして，
子どもの気付きの質を高めるための働きかけをする。

児童が自分自身や自分の生活について、
「見付ける」「比べる」「たとえる」などの
学習活動によって分析的に考えたり、
「試す」「見通す」「工夫する」などの
学習活動によって創造的に考えたり
したことを多様な方法で表現することで
気付きの質を高めていく。

学習指導のポイント

多様な学習活動



学習指導のポイント

気付きの質を高める

- ・試行錯誤や繰り返す活動を設定する
- ・伝え合い交流する場を工夫する
- ・振り返り表現する機会を設ける
- ・子どもの多様性を生かし、学びを豊かにする